



## 第1468回例会 会報

幹 事 若生恒吉  
 会長 市川輝雄  
 クラブ奉仕 佐藤 昇

出席報告：会員 81名 出席 63名

ロータリーに活力を—  
 あなたの活力を  
 PUT LIFE INTO ROTARY—  
 YOUR LIFE

1988 (昭63.8.2) 天候 晴

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔  
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓氷節雄

出席率 76.47% 前回出席率 69.57%  
 修正出席 69名 確定出席率 84.06%

## 会 長 報 告

市川輝雄君

漸く夏らしい暑さになり、なにやらホッと致しました。宮沢賢治の有名な詩「雨ニモマケズ風ニモマケズ」の中に「サムザノナツハオロオロアルキ」という一節があります。7月に入って真夏日が1日もなく、やっと7月31日になって気象台は東北地方に「梅雨明け」を宣言しました。日照不足で低温による農作物への影響が心配されています。この低温記録は明治35年以來の記録だそうです。

さて、本日は待ちに待った吉田ガバナーの公式訪問日であります。遠路のご訪問に対し改めて敬意を表します。私にとっては日照不足より公式訪問の方が心配なのでありまして、まさに青くなったり赤くなったりしなければなりません。なにしろガバナーは体調充分で大いに張切っていらっしゃいます。これも暑からず寒からずの天候異変が続いたおかげかも知れません。このあとじっくりとお話しを拝聴したいと思います。引続いて協議会も行われますの

で、各委員長さんよろしくお願ひします。

それから7月29日、鶴岡市と姉妹都市であり、当クラブとの姉妹クラブもあるアメリカ・ニューブランズウィック市の親善使節団一行8名が来鶴されました。上院議員であり市長であるジョン A・リンチ氏が団長で、奥様同伴の賑やかな顔ぶれでした。4年ぶりの訪問で、すっかり打ちとけられた印象を受けました。当クラブの初代会長であった故小花盛雄さんの橋渡しが姉妹都市盟約のキッカケでもありますし、NB市との友好協会会長が三井徹君で、当クラブ会員の多くが協会員であるところから、歓迎レセプションには多数の皆様にご出席頂き有難うございました。おかげさまで大いに友好親善の絆をより固く結ぶことができたのではないかと存じます。三井徹君、新穂光一郎君、連日ご苦労様でした。ちなみに、鶴岡とNB市との国際親善に対してリーダーズダイジェスト社より中規模都市間の優良姉妹都市として表彰されています。

以上で会長報告を終わります。

## ロータリアン日記 ○月○日

当クラブに入会して二ヶ月が過ぎました。たまたま例会の雑談の中で「毎週火曜日の例会出席がどうもおっくうでたまりません。何となく敷居が高いんです」と話していましたが、佐々木先生にその気持ちを書いてみると御下命を賜り、つたない文章を書く破目になりました。さて自分の気持ちの分析となるとこれが仲々難しいものです。

結論から先に申しますと、本当の意味でのプライドが持てればこの気分も解消という事なのでしよう。現在は汗を流して働いている社員に、そし

て世間様に何となく後ろめたい気持ちが拭い切れないのです。正直に言えば亡き親父がロータリー活動華やかな頃、私もチョッピリその生き方を批判的な目で見ていた事がありました。そんな過去の気持ちも今の私のフラフラしたものにつながっているのでしょう。

さて、これから先の事が大切なわけです。こんな作文を書かされている事も何かのキッカケにはなりそうです。とにもかくにもやってみましょう。少しづつ、それしかないわけですから。

小 松 稔

## 幹事報告

### ○例会変更のお知らせ

#### ・酒田R.C

日時 8月10日(水) P.M 6:00 点鐘

場所 ホテル リッチ酒田

登録料 4,000円

#### ・温海R.C

日時 8月2日(火) P.M 7:00 点鐘

場所 鼠ヶ関ビーチセンター

登録料 4,000円

### ○年次計画報告書到着 鶴岡西R.C

### ○氏名公表

NHK鶴岡支局長 富田 利信 君

## 委員会報告

### 出席委員会

### ○年間皆出席 ありません

### ○7月100%以上出席 5名

500%……新穂 400%……佐藤(元)

250%……張 175%……市川、若生

### ○7月100%出席 48名

秋野(忠)、阿蘇、藤川、布施、秋野(昭)、石井  
石川(寿)、石黒、板垣(俊)、板垣(広)、飯野、  
黒谷、小池、加藤(賢)、毛呂、迎田、松田、  
皆川、村中、中江、中沢、佐藤(昇)、佐藤(忠)  
佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、荘司、  
鈴木(善)、鈴木(弥)、関原、佐々木、鈴木(肇)  
斎藤(昭)、斎藤(昭)、斎藤(庄)、高橋、丹下、  
杉澤、松沢、高田、塚原、忠鉢、笹原(信)、  
碓氷、山口、吉野、日向、来海、御橋

### 親睦活動委員会

### ○8月会員誕生

庄司 嘉男 君、川上 栄樹 君

小松 稔 君、杉澤 保吉 君

三井 徹 君、三井 賢二 君

### ○8月奥様誕生

藤川 一子 様、布施 和子 様

吉野 英子 様、阿蘇 幸子 様

三井 章 様

## スマイル

吉田ガバナーの来訪を心から歓迎申し上げ、スマイル致します。

会 長	市川輝雄君
幹 事	若生恒吉君
会長エレクト	高橋良士君
副 会 長	佐藤 昇君
職業奉仕委員長	佐藤 衛君
社会奉仕委員長	迎田 稔君
国際奉仕委員長	松田 士郎君
青少年奉仕委員長	碓氷節雄君
直前会長	吉野 勲君
クラブ会計	斎藤庄治君
庄内分区代理	新穂光一郎君
庄内分区幹事	佐藤元伸君
国際青少年交換 小委員会地区委員	藤川享胤君
インターアクト 小委員会地区委員	張 紹淵君
30周年実行委員長	三井 徹君
30周年実行副委員長	小池 繁治君
ポリオプラス推進 特別委員会委員長	佐藤 忠君
I・G・F特別委員会 委員長	佐々木喆彦君
S・A・A 委員長	荘司 俊治君
親睦委員長	石川 寿男君

### 吉田 仁ガバナー

斎藤 昭君 台中港区扶輪社の珍さん、姉妹クラブ委員長の黄さんより30周年記念式典に30名位来訪するとの連絡がありましたので。

塚原初男君 おはようソフトが終わり、Dクラスで優勝致しました。

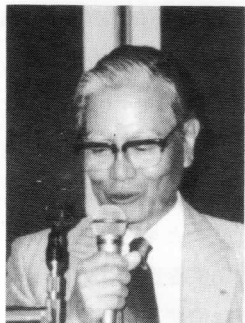
- 杉澤保吉君 先週26日の東北電力の「夕曲の夕べ」で多数の参加を得、成功裡に終了致しました。
- 新穂光一郎君 鶴岡市勤労者会館が完成しましたので。
- 秋野昭三君 鶴岡市勤労者会館の電気工事が終わりました。
- 碓氷節雄君 ライラ研修会に出席して、又タバコを休んで1年経過致しました。
- 御橋義諦君 体協の副会長に選ばれました。
- 石井敬三君 先日のクラブフォーラムの最後に原稿を掲載していただきましたので。
- 阿部与十郎君 7月30日、早稲田大学グリーンクラブの演奏会が文化会館で行われ成功裡に終了したので。
- 張 紹淵君 先日、地区の第一回の総会に出席し、高令者のための特別委員会が創設されましたので。

### ガバナー紹介

#### 市川輝雄君

吉田仁ガバナーをご紹介します。  
先生は大正12年のお生れで、所属クラブはいわき

### ガバナー講話



只今会長さんから過分なご紹介を戴きました吉田でございます。整形外科ということで、この中にも多くの先生方がおられますが、これからのお話しも同業のよしみで勘弁頂きたいと思えます。

まずは私、早坂源四郎先生を生み、また石黒パストガバナーを生んだ大変歴史のあるクラブを訪問できましたことを大変光榮に存じます。また、分区代

平R.Cであります。職業分類は整形外科、勤務先は吉田整形外科医院となっています。

昭和20年日大医科で卒業後、東北大整形外科から秋田県立中央病院整形外科部長、福島労災病院整形外科部長を歴任され、現在地に開業されておられます。いわき市の医師会会長、福島県医師会副会長もおつとめになりました。

以上は略歴ですが、人間としての内容は書いてありません。ガバナーとは会長幹事会を含め、数回しかお会いしていませんが、お人柄のアウトラインは掴んだつもりであります。

吉田ガバナーは名だたる外科医であります。よく名医のことを「鬼手仏心」の人と云いますが、表面は温顔春風駘蕩としてカドを見せませんが、いざとなれば鬼をもとりひしぐようなメスの牙えをみせる方であります。また、眼光紙背を読むような透徹した眼と、瞬時に病状を判断する力を持っています。

今日のクラブ協議会では薄いメッキでは通用しませんので、悩み事があれば裸になって先生に訴えて下さい。先生は253地区の各クラブの健康管理を預る医師であり、公式訪問はその回診であります。

それでは我等が国手、ホームドクターである吉田ガバナーのご講話を拝聴したいと存じます。

### 国際ロータリー第253地区 吉田 仁<sup>ひとし</sup>ガバナー

理の新穂光一郎さん及び分区幹事の佐藤さんにも、この庄内地区に入りまして大変お世話になりありがとうございました。それから地区の役員として張先生、藤川さん、いろいろ地区運営に関して協力いただいたことにも、この席を借りまして厚く御礼申し上げます。

午前中、会長さん、幹事さんといろいろ懇談致しましたが、ここにも戴きましたこのクラブフォーラムという内容を見ましても、非常に勉強しておられるクラブで、私、新前のガバナーとして襟を正さなくてはならないというつもりでありますので、今日

の協議会につきましても非常に浅学ではありますが、皆様のご協力を戴きながら進めて参りたいと思しますので、ご協力方お願い致します。

この例会で約20分のスピーチをしるというようなことでありますので、これからお話し申し上げたいと思いますが、私、ロータリーの歴史をサラッと読んでみましたところ、どうもこれは人生の縮図ではないかという感じでおりまして、いろいろ「ロータリーの友」或は「生きているロータリー」とか「すこやかなロータリー」というような表現でロータリーをみつめております。

ナッシュビルにおきましても、テーマとして、ここにあります「PUT LIFE INTO ROTARY - YOUR LIFE」LIFEというのは生命であり、生活であり、活力であるというようなことで、この解釈につきましてもは生命にするか、活力にするかということで大部翻訳者ではもめたようではありますが、結論は活力ということに落ち着いたようではありますが、私、本日申し上げたいことは、我々一つの人生という中でこのロータリーの生命とどのように結びつけていくかということでお話し申し上げたいと思えます。

昔、中国の宋の時代ですが、朱新仲という思想家がおりまして、人生5計説というものを立てました。これは要するに、生計（生活のための計り事）、家計（経済的にどう自立していくか）、身計（いかに健康に過ごすか）、老計（いかに美しく老いるか）死計（いかに安らかに死ぬるか）ということであり、朝日新聞その他で「死を見つめて」とか、いろいろお話しが出ていましたが、要するに人間の死というものを経験的に考えていくということで、これは私も医者でありますので、これまで何人かの患者さんの臨終ということに出会って参りました。そのあたりに生命の神秘とか、或は医学の無力さというものを感じていた訳であります。最近のアンケート調査によりますと、「皆さんどこで死にたいと思えますか」という問いに対して「自宅で死にたい」というのが圧倒的のようでありました。自分の造った庭とか、隣近所の人とか、或は自分の

建てた家、そういうものにまとわれながら死を迎えるというのが希望のようであります。現状はどうかと申しますと、やはり病院で医師と看護婦、いわゆる面会謝絶の看板のもとに家族との対話もなく、他界される方が多い訳です。こうした反省から医師会、或は看護婦、そうした関係の人たちから「これで良いのだろうか」という考え方が最近出ております。要するに安らかな死というのは、肉体的な苦痛もさることながら、精神的、社会的、或は宗教的それから家族、そういう関係の苦痛がある訳であります。そういう苦痛がない状態、それが私は美しく老いる状況ではないかと考えています。要するに肉体的苦痛がないということが、いかに健康であるのかということでもあります。

それから、精神的苦痛というのは、人生の意味をよく理解する、或は幸福な家庭を築いていくというようなこと、それから社会的には自分の事業所、或は従業員の問題等が円滑にしているということ又、宗教的な問題ですが、これは一生懸命信仰したのにどうして病気になったのだろうかとか、或は自分の人生の一生に何か罪深い懺悔的なものはないかというようなことで、それが宗教的な苦痛であります。こうした宗教的、肉体的、或は精神的、社会的苦痛がない状態が美しく老いる第一の条件であります。

それでは、いわゆる家計とか身計とかということが美しく老いる前の一つの前提なわけですが、では、生計（一生の計り事）というものはどうするのかということを考えてみますと、昔、中国の諺に「一年の計ならば穀物を植えよ、十年の計ならば樹を植えよ、一生の計ならば人間をつくれ」という話があります。こうした中で我々は、ロータリーの一つの精神というものを人生の中にどのように組み合わせていったらよいのだろうかということを考えてみると、私は心の健康、要するに人間関係を良くする、或は社会によく適応していく、或は情緒を豊かにする、そして人に恥じない行動をすること、これらが心の健康を保つ第一の条件であります。しかし、夫々に一つの環境というものがありまして、その環境にど

う対応していくか。ある人はその環境にそのまま順応していく消極的タイプというのがあります。もう一方に、環境をどんどん自分の都合良い方向に変えていく積極的な人もあります。いずれにしても夫々ある環境下において自分の人生訓とか信念でそれぞれ対応している訳です。

もう一つ、我々人生についてまわるのが要求不満というものであります。これは積極的な人にも、消極的なタイプの人にも、いずれにも欲求不満は出て参ります。この欲求不満そのものは取り除くことはできません。ただ、そこにどう反応していくかということが問題なわけです。

一つには、何でも自分が悪いんだというタイプといや、何でも人が悪いんだと他人のせいにしてしまう、2つのタイプがあろうかと思えます。いずれにしても両極端というのは心の健康上、非常に良くないことでありますけれども、東洋的思想から言うと「人をとがめず、ただ己の足らざるを責める」との諺がありますが、日本人はどちらかという自分自身を責めることが多い訳ですが、このような技術革新の時代になりますと、うつ病とかそのような病気に結びついてきますので、そのようなところは適当に他人のせいにしてみたり、自分のせいにしてみたりしてバランスをとって過ごすことが必要だと思えます。

もう一つ医学界で問題になりますことに癌の告知ということがあります。これは告知された人がそれからの一生どう考えるかというアンケートがあります。それをとってみますと、奉仕をしたいということであります。我々ロータリーで日頃、超我の奉仕自我の奉仕等と言っている訳であります。それを追求するにしても、やはり死というものを見つめるような条件にならなければ、そういう境地に達しないものと思えます。やはり我々はそのような状態にならなくても、それに到達しようとする一つの努力というものが大切ではないかと思えます。

それでは超我の奉仕というものについて一体どうなのかと言いますと、私はやはり心に問題があるのではないかと思えます。では心というものを医学的に、哲学的に、仏教的に考えてみるとどうなのか。

まず医学的には心と体の一体感、どこに心というものがあるのだろうか。これは仲々難しい問題で、医学がどんなに発達しても、ここに心があるんだという場所は指定できません。ただ脳にはあるんだらうという程度のことしかわかりません。では哲学的にはどうなのかと言いますと、これはまた脳と心は全然別なものというような考え方、そして作用も別だということ。また、ある刺激を受ければ脳も心も一緒に活動するんだというような、まあ、いろいろな説があるようですが、いずれにしても人間に心がないという人は誰もいないと思います。そういうことで仏教的に見ますと、心のことを識（シキ）ということで、心の研究をすることを唯識哲学というそうであります。我々が普通耳で聴く、モノを見る或はモノを味わうという感覚的な意識、その上に意識という普通の意識があって、その上に未那識（マナシキ）というものがある、大体この辺が我々が無心で何かやっちゃったという無心に当たるようであります。その上に阿羅邪識（アラヤシキ）というところがありまして、それがどうも超我、或は自我というところのようであります。日本では昔から茶道だとかいろんな形で阿羅邪識の境地を勉強して、それが禅という形で、現在それを研究する宗教として禅というものがあるようであります。いずれにしても、日本人は古くから心の深さというものを研究していたのではないかと思います。

3～4年も北欧に行ってみました時に、外人の心の福祉制度の在り方というものを見ました時に、まったく日本では考えられない心の広さというものを痛感しました。これはとても日本人の発想ではそういうことに到達しないものがあるようでございます。そうしますと、我々ロータリーで、いわゆる奉仕という事をやる時に、どうも東洋的思想で控え目だということでは充分な奉仕はできないのではないかと思います。ある程度、心の広さというものを持った方が良いと考える次第です。いずれに致しましても人間の心というものは科学とか技術とか宗教とか芸術とか、そういうもののいっしょくたの一つの文化というものをつくりあげて、夫々の国が、それぞれ

の文化を持って、それを我々は世界交流という形で  
お互いに求めあっている訳であります。要するに人  
間の心と精神というものは本当に果しないものだ  
と思いますが、こういうことを基にして我々は社会生  
活をしているわけでありまして、このLIFEという  
ものを私、最初に我々の生活にどう結びつけていく  
のかと申しますと、このLIFEという言葉に「生活」  
というように考えてもおかしくないのではないかと  
思います。毎日の生活、それをロータリーにつ  
ぎ込んでいくことが我々の人生にとって大いにプ  
ラスになるのではないかとということで、この辺で結  
論にしたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

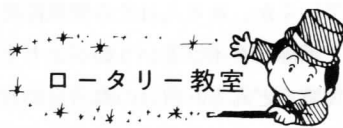
尚、引き続きロイス・アビーRI会長メッセージ  
のビデオ放映が行われました。(詳細は省略させて  
いただきました。)

### 8月16日のプログラム予定

- ライラ研修会報告 青少年奉仕委員会
- 新入会員スピーチ 御橋義諦君



エンフクロ  
K カット 石井敬三君



(ロータリアン必携より抜粋。第1465回会報より続く)

### 職業分類の原則(2)

シニア・アクチブまたはパスト・サービスになる  
ことにより、その職業分類は新しい会員に貸与され  
ることが可能となり、それによって自己のロータリ  
ークラブの拡大に貢献します。名誉会員とは、過去  
あるいは現在、クラブの区域に居住し、ロータリー  
の理想促進への功績によって、名誉会員に選ばれた  
人であります。投票権はなく、会費は無料で、名誉  
会員に選んだクラブのみに出席できます。

国際ロータリーの定款および細則、標準ロータリ  
ークラブ定款によれば、各クラブの正会員は、個人  
個人の職業によって分類されなければなりません。  
ロータリーにおいては、職業分類とは、個人の関係  
する特定の会社、団体または職業の活動を説明する  
言葉であり、職業分類は、正会員に「貸与される」  
となっています。例外もありますが、正会員は、各  
職業分類につき1人が入会をゆるされます。そして  
同じ業種または職種の種類にかぎって、アディショ  
ナル正会員を推薦することができます。(アディシ  
ョナル正会員は、自分の推薦者が正会員でなくな  
ったとき、自分の職業分類を失う場合をのぞいて、  
あらゆる実際的な面において正会員と同様とみなさ  
れます。)しかし、推薦者が正会員でなくなった場  
合でも、アディショナル正会員が正会員として、職  
業分類の空席をうめるべく選ばれることも多くあり  
ます。(次回へ続く)

## MEMBER'S CORNER

銘菓 古鏡

⊗ 木村屋

代表取締役社長 吉野 勲

鶴岡市山王町9-25  
☎ 0235 (2) 4530 代

電子計算機に依る受託計算  
特定労働者派遣事業所

株式会社 鶴岡電子計算センター

代表取締役社長 碓氷 節雄

鶴岡市家中新町6番26号  
☎ 0235 (2) 6166 代

ポリオプラスを成功させよう 世界社会奉仕委員会  
ポリオプラス募金にご協力ありがとうございました。